

休業の状態に関しては、本調査における“休業”の定義は、精神疾患等の理由により一定期間以上会社を休んでいる状態とした。また休業期間に関しては、1カ月を30日に換算し、利用者から得られる情報をもとに記入を依頼した。平均休職回数は全体で1.9回（SD1.4）、休業経験者2.0回（SD1.4）で前回調査より0.1回減少した。総休業期間は平均572.1日（SD450.7/median450.0）で前回調査より36.8日減少した（表52）。

リワークの利用状況は、初回利用者が1,534人（85.4%）、再利用者263人（14.6%）であった。利用予定日数は、1週間当たり平均3.5日（SD1.5/median4.0）であった。主治医が自院である利用者は1,325人（73.0%）、他院491人（27.0%）であった。今回のリワークへの参加開始日は、調査年度である2012年が1380人（75.5%）で最も多く、その前年2011年は342人（18.7%）、2010年は65人（3.6%）であった（表53、54、55、56）。

診断別の利用者数（表50）

利用者のICD-10による診断の内訳は、F3気分（感情）障害が1,381人（78.4%）、F4神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害251人（13.9%）、F2統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害99人（5.4%）、F8心理的発達の障害28人（1.5%）、F6成人のパーソナリティおよび行動の障害14人（0.8%）、F1精神作用物質使用による精神および行動の障害11人（0.6%）、F9小児期および青年期に通常発達する行動及び情緒の障害6人（0.3%）、F5生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群5人（0.3%）、F0症状性を含む器質性精神障害3人（0.2%）、F7精神遅滞〔知的障害〕3人（0.2%）であった。また、DSM-IVTRによる双極Ⅱ型の可能性がある利用者は496人（27.7%）であった。

これまでに実施した調査と比較すると、平成

20年7月に実施した調査では1ヶ月の対象期間における登録者数は593人、平成22年10月に実施した調査では任意の1日における登録者数は700人、平成23年10月の7日間の対象期間における登録者数は1,417人、今回平成24年10月の7日間の対象期間における登録者数は1,827人と着実に増加していることが判明した。また平成22年度の精神保健福祉資料によると6月1か月間のデイケア等の実利用者数は103,197人であったため、精神科デイケア等全体に占めるリワークの割合は1.4%であった。

利用者の診断について前回調査と割合を比較すると減少はF3気分（感情）障害-1.7%、F0症状性を含む器質性精神障害-0.8%、F6成人のパーソナリティおよび行動の障害-0.6%、F2統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害-0.1%であり、増加はF4神経症性障害2.3%、F1精神作用物質使用による精神および行動の障害0.5%、F5生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群とF7精神遅滞〔知的障害〕とF8心理的発達の障害はいずれも0.2%であった。

DSM-IVTRによる双極Ⅱ型の可能性がある利用者の割合については0.6%減少し27.7%であった。また精神科デイケア等全体と比較したところ、平成22年度の精神保健福祉資料によると6月1か月間のデイケア等利用者の疾患として最も多いF2統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害の割合は8割弱でありリワークより約6割多く、次に多いF3気分（感情）障害は1割強のため逆に6割少なかった。F4神経症性障害はリワークの方が1割ほど多く、F1精神作用物質使用による精神および行動の障害はリワークの方が6%ほど少なかった。

G. まとめ

1. リワーク研究会所属の施設と利用者を対象とし、リワーク（復職支援）プログラムの

実施状況を調査したところ、診療報酬区分としては精神科デイケアを中心に精神科ショートケアを組み合わせて運営している医療機関が多いことが判明した。

2. 105施設で合計578名のスタッフが勤務し昨年より94人増加した。臨床心理士が最も多く全体の3割を占め、看護師が2割強、精神保健福祉士が2割であり、看護師の占める割合が昨年より増加した。
3. 復職時の勤務先企業の産業医・産業保健スタッフに対する連絡・調整は、書面が最も多く6割、診察時が3割強、訪問が1割強を占めていた。人事労務担当者に対しての連絡・調整は、書面が5割、診察が4割弱であり、昨年と比較して人事労務担当者とのやり取りの割合が減少していた。
4. 復職後のフォローは外来診療が最も多く8割であったが、復職後のフォローアッププログラムを実施している施設は54%にのぼり昨年より11.5%増加した。
5. プログラムの内容に関し実施形態により5区分に分類したところ「集団プログラム」が3割、「その他のプログラム」と「特定の心理プログラム」と「個人プログラム」が2割であり、昨年とほぼ同割合であった。医療機関ごとに見ると5区分すべてに該当するプログラムを実施している医療機関は41%、4区分に該当している医療機関は35%であり、昨年より5.4%増加した。
6. 今回の調査では、平成24年10月所定の7日間に登録されていたリワーク利用者1,827人について個別調査も実施した。休業回数は平均1.9回、総休業期間は平均572日で昨年より37日減少したが、昨年同様頻回かつ長期間の休職状態にある利用者が多いことが判明した。また、DSM-IVTRによる双極Ⅱ型の可能性がある利用者は28%で昨年とほぼ同率であった。近年の傾向として診

断としても双極性障害の可能性を持つ利用者が多く、難治性の気分障害が対象となっていることが浮き彫りとなった。

H. 結論

これまで5年間にわたり基礎調査を行ってきた。調査対象施設が著しく増加してきたため回収率は前年と比べ4.3%回収率が下落した。

プログラムに関してはプログラム内容の充実やフォローアッププログラムの実施が増加する等が示された。ただし、企業の人事労務担当者との連携が低下している点が懸念される。

利用者に対する大規模な調査を行ったが、休職回数が多く、また、休職期間も長い利用者がプログラムを利用している現実が明らかとなり、双極性障害を疑う症例も3割近くまで増加していることも示され、今後の課題が残されていると考える。

I. 健康危険情報

なし

J. 研究発表

1. 論文発表

1) 林俊秀、五十嵐良雄：リワークプログラムの標準化、臨床精神医学, 41(11):1509-1519, 2012

2. 学会発表

日本うつ病学会（2013年7月19、20日、福岡）のシンポジウムにおいて発表を予定している。

K. 知的財産権の出願・登録状況

なし

L. 文献

目でみる精神保健医療福祉 平成22年度精神保健福祉資料；厚生労働科学研究費補助金（こころの健康科学研究事業）「精神保健医療福祉の改革ビジョンの成果に関する研究」研究班

A. リワーク施設情報

質問1 リワーク施設の属する医療機関について該当する箇所1つに○を記入して下さい。

	n= 105	
	件数	
病院	36	(34.3%)
診療所	69	(65.7%)
合計	105	(100.0%)

質問2 併設する精神科入院施設がある場合、精神科病棟は何床でしょうか。(無ければ0を記入)
(質問1で「病院」と答えた方)

	n= 33	
	件数	
0床	0	(0.0%)
1～49床	1	1.0%
50～99床	5	4.8%
100～149床	3	2.9%
150～199床	5	4.8%
200～249床	5	4.8%
250～299床	5	4.8%
300～349床	2	1.9%
350～399床	2	1.9%
400床以上	5	4.8%
合計	33	(100.0%)
mean	235.4	
SD	142.9	

質問3 精神科病棟のうち、ストレスケア病棟は何床でしょうか。(無ければ0を記入)
(質問2で床数が「1床以上」の施設)

	n= 30	
	件数	
0床	18	17.1%
8床	1	1.0%
15床	2	1.9%
25床	1	1.0%
30床	2	1.9%
35床	1	1.0%
47床	1	1.0%
48床	2	1.9%
60床	1	1.0%
170床	1	1.0%
合計	30	(100.0%)
mean	44.3	
SD	42.6	

質問4-1 貴院リワーク施設で最も多く診療報酬上算定しているのはどれですか。
(複数回答)

表4	n= 101	
	件数	
デイケア	59	58.4%
ショートケア	32	31.7%
デイナイトケア	8	7.9%
ナイトケア	3	3.0%
精神科作業療法	6	5.9%
通院集団精神療法	3	3.0%
その他	0	0.0%

質問4-2 質問4-1の回答以外に貴院リワーク施設で診療報酬上算定しているのはどれですか。
(複数回答)

表4-2	n= 83	
	件数	
デイケア	36	43.4%
ショートケア	57	68.7%
デイナイトケア	9	10.8%
ナイトケア	6	7.2%
精神科作業療法	4	4.8%
通院集団精神療法	5	6.0%
その他	6	7.2%

(その他)

- ①ハミルトンうつ病評価尺度 ②内田クレペリン精神検査
- 通院精神療法
- 入院集団精神療法
- なし

質問4-3 リワークを始めた年(西暦)を記入して下さい。

表4-3	n= 100	
	件数	
1997年	1	1.0%
2003年	1	1.0%
2004年	2	2.0%
2005年	2	2.0%
2006年	6	6.0%
2007年	20	20.0%
2008年	12	12.0%
2009年	17	17.0%
2010年	16	16.0%
2011年	17	17.0%
2012年	6	6.0%
合計	100	(100.0%)

質問4-4 デイケア、ショートケアを選択した場合、該当する規模を記入して下さい。
(質問4-1又は質問4-2で「デイケア」又は「ショートケア」と答えた方)

表4-4	n= 91	
	件数	
大規模	46	50.5%
小規模	45	49.5%
合計	91	(100.0%)

質問4-5 リワークプログラムの1週間の開催日を記入して下さい。
開催日数(／週)

表4-5-1	n= 102	
	件数	
1日	2	2.0%
2日	6	5.9%
3日	9	8.8%
4日	16	15.7%
5日	53	52.0%
6日	16	15.7%
7日	0	0.0%
合計	102	(100.0%)
mean	4.4	
SD	1.4	

(曜日)

表4-5-2	n= 102	
	件数	
月	89	(87.3%)
火	94	(92.2%)
水	84	(82.4%)
木	76	(74.5%)
金	93	(91.2%)
土	30	(29.4%)
日	0	(0.0%)

質問4-6 リワーク施設の定員数を記入して下さい。

表4-6	n= 96	
	件数	
1～9人	10	10.4%
10～14人	13	13.5%
15～19人	11	11.5%
20～24人	26	27.1%
25～29人	6	6.3%
30～39人	10	10.4%
40～49人	4	4.2%
50～59人	9	9.4%
60～69人	1	1.0%
70人以上	6	6.3%
合計	96	(100.0%)
mean	26.1	
SD	17.3	

質問4-7 リワーク以外の対象者受入をしていますか。

表4-7	n= 102	
	件数	
している	48	47.1%
していない	54	52.9%
合計	102	(100.0%)

質問4-8 あてはまる対象をすべて選んで下さい。
(質問4-7で「している」と答えた方)

表4-8	n= 44	
	件数	
社会生活機能改善を目的とした主に統合失調症患者	25	56.8%
居場所の提供を目的とした慢性期精神疾患患者	21	47.7%
各種依存症からの回復のための利用者	7	15.9%
社会適応技術の習得を目的とした発達障害者(思春期、成人とも)	25	56.8%
社会適応技術の習得を目的とした高次機能障害者	6	13.6%
社会適応技術の習得を目的としたパーソナリティ障害者	12	27.3%
生活支援を目的とした高齢者	7	15.9%
生活支援を目的とした介護、認知症患者	1	2.3%

質問4-9 リワーク対象者とリワーク対象者以外のどちらの人数が多いですか。
(質問4-7で「している」と答えた方)

表4-9	n= 47	
	件数	
リワーク対象者	24	51.1%
リワーク対象者以外	23	48.9%
合計	47	(100.0%)

質問4-10 リワーク対象者とリワーク対象者以外の参加者に対し、一緒に実施するプログラムの有無について記入して下さい。

表4-10	n= 79	
	件数	
有	53	67.1%
無	26	32.9%
合計	79	(100.0%)

B. リワークに関わるスタッフ情報

質問5 全スタッフが1日の利用者全員分の個別記録を作成するために要する時間(分)を記入して下さい。
(1日当たりの所要時間)
(分/月)

	n= 100	
	件数	
30分未満	6	6.0%
30分以上 60分未満	22	22.0%
60分以上 90分未満	24	24.0%
90分以上 120分未満	11	11.0%
120分以上 180分未満	15	15.0%
180分以上 240分未満	11	11.0%
240分以上 360分未満	6	6.0%
360分以上	5	5.0%
合計	100	(100.0%)
mean	116.7	
SD	125.4	

質問6 利用者1名の診療計画を作成するために要する時間(分)と作成回数(頻度)を記入して下さい。
(1名当たりの所要時間)

	n= 93	
	件数	
0分	1	1.1%
5分	2	2.2%
8分	1	1.1%
10分	8	8.6%
15分	6	6.5%
20分	10	10.8%
25分	1	1.1%
30分	32	34.4%
40分	2	2.2%
45分	2	2.2%
50分	1	1.1%
60分	19	20.4%
90分	2	2.2%
120分	5	5.4%
360分	1	1.1%
合計	93	(100.0%)
mean	42.1	
SD	43	

(1ヶ月当たりの作成回数)
(回/月)

	n= 91	
	件数	
0回	3	3.3%
0.3回	2	2.2%
0.5回	4	4.4%
1回	53	58.2%
1.5回	1	1.1%
2回	12	13.2%
2.5回	1	1.1%
3回	2	2.2%
4回	5	5.5%
5回	1	1.1%
8回	2	2.2%
10回	2	2.2%
16回	1	1.1%
20回	2	2.2%
合計	91	(100.0%)
mean	2.3	
SD	3.6	

質問7 毎日定例の打ち合わせ・業務連絡以外のスタッフミーティングに関し、実施頻度と実施時間をお答えください。

実施頻度(1ヶ月間の実施回数、実施していない場合は0)
(回/月)

表7-1	n= 100	
	件数	
0回	13	13.0%
0.5回	2	2.0%
1回	21	21.0%
2回	9	9.0%
4回	36	36.0%
4.5回	2	2.0%
5回	3	3.0%
6回	5	5.0%
8回	2	2.0%
8.5回	1	1.0%
15回	1	1.0%
16回	1	1.0%
20回	3	3.0%
22回	1	1.0%
合計	100	(100.0%)
mean	4.3	
SD	4.4	

(1回当たりの所要時間:分)
(実施回数を「0回」と答えた方を除く)

表7-2	n= 88	
	件数	
15分	5	5.7%
20分	3	3.4%
30分	27	30.7%
40分	4	4.5%
45分	3	3.4%
60分	27	30.7%
90分	5	5.7%
120分	8	9.1%
150分	1	1.1%
180分	2	2.3%
250分	1	1.1%
360分	1	1.1%
600分	1	1.1%
合計	88	(100.0%)
mean	68.7	
SD	77.6	

質問8 ケースカンファレンスに関し、実施頻度と実施時間、参加者内訳をお答えください。

実施頻度(1ヶ月間の実施回数、実施していない場合は0)
(回/月)

表8-1	n= 98	
	件数	
0回	20	20.4%
0.25回	1	1.0%
0.5回	2	2.0%
1回	31	31.6%
2回	12	12.2%
2.5回	1	1.0%
3回	2	2.0%
4回	22	22.4%
4.5回	1	1.0%
5回	1	1.0%
6回	1	1.0%
12回	1	1.0%
20回	3	3.1%
合計	98	(100.0%)
mean	3.1	
SD	3.8	

(実施回数を「0回」と答えた方を除く)
(1回当たりの所要時間:分)

表8-2	n= 78	
	件数	
10分	1	1.3%
15分	3	3.8%
20分	6	7.7%
30分	20	25.6%
40分	1	1.3%
45分	3	3.8%
50分	1	1.3%
60分	30	38.5%
90分	5	6.4%
120分	7	9.0%
180分	1	1.3%
合計	78	(100.0%)
mean	59.1	

(実施回数を「0回」と答えた方を除く)
(参加者内訳)

表7-3	n= 80	
	件数	
スタッフのみ	13	16.3%
医師も参加	67	83.8%
合計	80	(100.0%)

質問9 リワークに関わる全スタッフ数

表9	n= 105	
	件数	
1人	4	(3.8%)
2人	10	(9.5%)
3人	17	(16.2%)
4人	15	(14.3%)
5人	16	(15.2%)
6人	17	(16.2%)
7人	8	(7.6%)
8人	7	(6.7%)
9人	2	(1.9%)
10人	2	(1.9%)
11人	1	(1.0%)
12人	2	(1.9%)
13人	2	(1.9%)
25人	2	(1.9%)
合計	105	(100.0%)
mean	5.5	

質問9-1 リワークに関わる全スタッフに関し、取得している主な資格に関し、該当する番号をひとつ記入して下さい。

表9-1	n= 578	
	件数	
看護師	135	(23.4%)
保健師	6	(1.0%)
精神保健福祉士	118	(20.4%)
作業療法士	62	(10.7%)
理学療法士	1	(0.2%)
臨床心理士	157	(27.2%)
その他の心理職	35	(6.1%)
産業カウンセラー	9	(1.6%)
キャリア・コンサルタント	1	(0.2%)
その他	49	(8.5%)
無回答	5	(0.9%)
合計	578	(100.0%)

質問9-2 リワークに関わる全スタッフに関し、取得している主な資格以外の資格に関し、該当する番号すべて記入して下さい。

(副資格の有無)

表9-2-1	n= 578	
	件数	
あり	148	(25.6%)
なし	430	(74.4%)
合計	578	(100.0%)

(副資格ありの方)

表9-2-2	n= 148	
	件数	
看護師	17	(11.5%)
保健師	18	(12.2%)
精神保健福祉士	25	(16.9%)
作業療法士	4	(2.7%)
理学療法士	4	(2.7%)
臨床心理士	6	(4.1%)
その他の心理職	8	(5.4%)
産業カウンセラー	31	(20.9%)
キャリア・コンサルタント	16	(10.8%)
その他	64	(43.2%)

質問9-3 リワークに関わる全スタッフの性別

表9-3	n= 563	
	件数	
男性	169	30.0%
女性	394	70.0%
合計	563	(100.0%)

質問9-4 リワークに関わる全スタッフの記入日現在の年齢

表9-4	n= 578	
	件数	
24才以下	25	4.3%
25～29才	114	19.7%
30～34才	113	19.6%
35～39才	105	18.2%
40～44才	69	11.9%
45～49才	73	12.6%
50～54才	37	6.4%
55～59才	20	3.5%
60～64才	16	2.8%
65～69才	1	0.2%
70才以上	5	0.9%
合計	578	(100.0%)
mean	38.1	
SD	10.3	

質問9-5 リワークに関わる全スタッフの勤務形態

表9-5	n= 573	
	件数	
常勤	398	69.5%
非常勤	175	30.5%
合計	573	(100.0%)

質問9-6 リワークに関わる全スタッフに関し、非常勤の場合の勤務日数
(質問9-5で「非常勤」と答えた方)

勤務日数(日/週)

表9-6	n= 166	
	件数	
0.5日	6	3.6%
1日	50	30.1%
1.5日	2	1.2%
2日	33	19.9%
3日	34	20.5%
4日	29	17.5%
4.5日	2	1.2%
5日	9	5.4%
6日	1	0.6%
合計	166	(100.0%)
mean	3.3	
SD	1.6	

質問9-7 リワークに関わる全スタッフに関し、非常勤の場合の勤務時間
 (質問9-5で「非常勤」と答えた方)

勤務時間(時間/週)

表9-7	n= 173	
	件数	
5時間未満	34	19.7%
5～9時間	35	20.2%
10～14時間	22	12.7%
15～19時間	22	12.7%
20～24時間	28	16.2%
25～29時間	9	5.2%
30～34時間	17	9.8%
35～39時間	1	0.6%
40時間以上	5	2.9%
合計	173	(100.0%)
mean	17.6	
SD	12.3	

質問9-8 リワークに関わる全スタッフに関し、主な資格・職種としての経験年数

表9-8	n= 541	
	件数	
1年未満	5	0.9%
1年以上～2年未満	28	5.2%
2年以上～3年未満	38	7.0%
3年以上～4年未満	36	6.7%
4年以上～5年未満	52	9.6%
5年以上～6年未満	33	6.1%
6年以上～7年未満	35	6.5%
7年以上～8年未満	26	4.8%
8年以上～9年未満	36	6.7%
9年以上～10年未満	28	5.2%
10年以上～15年未満	89	16.5%
15年以上～20年未満	57	10.5%
20年以上～25年未満	31	5.7%
25年以上～30年未満	22	4.1%
30年以上	25	4.6%
合計	541	(100.0%)
mean	10.6	

質問9-9 リワークに関わる全スタッフに関し、リワークプログラムの経験年数

表9-9	n= 573	
	件数	
1年未満	5	0.9%
1年以上～2年未満	174	30.4%
2年以上～3年未満	118	20.6%
3年以上～4年未満	100	17.5%
4年以上～5年未満	77	13.4%
5年以上～6年未満	41	7.2%
6年以上～7年未満	28	4.9%
7年以上～8年未満	13	2.3%
8年以上～9年未満	7	1.2%
9年以上～10年未満	3	0.5%
10年以上	7	1.2%
合計	573	(100.0%)
mean	3	
SD	2.7	

質問9-10 リワークに関わる全スタッフに関し、企業での就労経験

表9-10	n= 563	
	件数	
無し	394	70.0%
産業保健スタッフとして就労	25	4.4%
産業保健スタッフ以外	134	23.8%
産業保健スタッフ、産業保健スタッフ以外の両方	10	1.8%
合計	563	(100.0%)

C. リワーク・プログラムの利用開始について

質問10 利用の最終の決定について最も適するもの1つに○を記入して下さい。

表10	n= 105	
	件数	
主治医が決める	45	(42.9%)
院長などの管理者が決める	24	(22.9%)
会議で決める	30	(28.6%)
その他	6	(5.7%)
合計	105	(100.0%)

(その他)

- デイケア担当医
- リワーク担当医
- 主治医の許可のうえ、本人が決定する
- 当院のリワーク担当医
- 担当医(リワーク)

質問11 利用の決定にあたり最も重要なポイントを1つ選択し○を記入して下さい。

表11-1	n= 103	
	件数	
(症状について)規則的な睡眠リズムが回復している	5	4.9%
(症状について)精神症状・身体症状が安定している	50	48.5%
(症状について)通所できる体力が回復している	20	19.4%
(生活レベルについて)外出できる日が一定日ある	5	4.9%
プログラム参加へのモチベーションがある	19	18.4%
その他	4	3.9%
合計	103	(100.0%)

(その他)

- 昼間6時間DCで過ごせる状態(週2回)
- グループ適応性
- 主治医情報提供書→受生活者→管理者スタッフでの判定会議
- 主治医の判断

(外出できる日)

表11-2	n= 5	
	件数	
週2日以上	1	(20.0%)
週3日以上	3	(60.0%)
週5日以上	1	(20.0%)
合計	5	(100.0%)

質問12 プログラム受け入れの条件は決めていますか。

n= 102		
件数		
決めている	87	85.3%
決めていない	15	14.7%
合計	102	(100.0%)

質問13 プログラム受け入れにおいて本人の症状による条件を定めていますか。
(質問12で「決めている」と答えた方)

表13-1 n= 87		
件数		
定めていない	13	(14.9%)
定めている	74	(85.1%)
合計	87	(100.0%)

定めている場合は該当するものすべてに○を記入

表13-2 n= 74		
件数		
規則的な睡眠リズムが回復している	32	(43.2%)
精神症状・身体症状が安定している	53	(71.6%)
集中力・理解力が回復している	7	(9.5%)
通所できる体力が回復している	47	(63.5%)
その他	10	(13.5%)

(その他)

- 昼間6時間DCで過ごせる状態(2回/W)
- 主治医の判断
- 復職への意欲が高い
- リワーク利用規則が守れる方
- 週3回通所できる体力
- 日中の活動性がある
- 2/W安定して参加可のアレベルにある
- 参加規約への同意
- 通院動機がある
- 自傷他害的な攻撃性がなく、あわせれる状態にある。焦

質問14 プログラム受け入れにおいて本人の生活レベルによる条件を定めています
(質問12で「決めている」と答えた方)

表14-1	n= 87	
	件数	
定めていない	48	(55.2%)
定めている	37	(42.5%)
無回答	2	(2.3%)
合計	87	(100.0%)

定めている場合は該当するものすべてに○を記入

表14-2	n= 37	
	件数	
半日程度外出できる日が一定日ある	22	(59.5%)
1日図書館通いできる日が一定日ある	3	(8.1%)
身だしなみが整ってきた	9	(24.3%)
食生活のリズムが安定している	7	(18.9%)
その他	7	(18.9%)
無回答	1	(2.7%)

(その他)

- 外出できる日が週3日以上
- 週に3日以上デイケアに利用が可能な回復状況
- 家事など家庭生活内の役割の一端が任えている。
- 睡眠リズムの安定
- 週3日以上外出することが可能
- AMのリワーク参加も出来る状態
- 生活リズムの安定

(半日程度外出できる日が一定日ある)

表14-3	n= 22	
	件数	
週2日以上	6	(27.3%)
週3日以上	9	(40.9%)
週4日以上	1	(4.5%)
週5日以上	4	(18.2%)
無回答	2	(9.1%)
合計	22	(100.0%)

(1日図書館通いできる日が一定日ある)

表14-4	n= 3	
	件数	
週3日以上	2	(66.7%)
無回答	1	(33.3%)
合計	3	(100.0%)

質問15 プログラム受け入れにおいて除外疾患の条件を定めていますか。
 (質問12で「決めている」と答えた方)

表15-1	n= 87	
	件数	
定めていない	17	(19.5%)
定めている	69	(79.3%)
無回答	1	(1.1%)
合計	87	(100.0%)

定めている場合は該当する疾患すべてに○を記入

表15-2	n= 69	
	件数	
気分障害以外すべて	14	(20.3%)
双極性障害	2	(2.9%)
アルコール依存症などの物質依存	47	(68.1%)
パーソナリティ障害	36	(52.2%)
発達障害	18	(26.1%)
摂食障害	25	(36.2%)
パニック障害	9	(13.0%)
統合失調症	38	(55.1%)
その他	4	(5.8%)

(その他)

- 神経症含む
- 気分障害メインでパニック障害、パーソナリティ障害、発達障
- 気分障害、統合失調症以外すべて
- 希死念慮

質問16 プログラム受け入れにおいて勤労状態の条件を定めていますか。
 (質問12で「決めている」と答えた方)

表16-1	n= 87	
	件数	
定めていない	21	(24.1%)
定めている	66	(75.9%)
合計	87	(100.0%)

定めている場合は該当するものすべてに○を記入

表16-2	n= 66	
	件数	
休職者を受け入れる	64	(97.0%)
失職者を受け入れる	17	(25.8%)
復職者、勤務中の者を受け入れる	18	(27.3%)
その他	3	(4.5%)

(その他)

- 就労
- 在職かつ休職のみ

質問17 プログラム受け入れにおいて同一企業内の条件を定めていますか。
(質問12で「決めている」と答えた方)

表17-1	n= 87
	件数
定めていない	60 (69.0%)
定めている	27 (31.0%)
合計	87 (100.0%)

定めている場合は該当するもの1つに○を記入

表17-2	n= 27
同一企業の場合	件数
同一企業内の社員は同時期に行わない	4 (14.8%)
同一企業内の社員で同時期でも実施する	4 (14.8%)
参加者の意思を確認し参加を決める	17 (63.0%)
その他	2 (7.4%)
合計	27 (100.0%)

(その他)

- 職種や勤務地などの諸条件による
- 同一部門、就労場所の社員は同時期に行わない

質問18 プログラム受け入れにおいて主治医の条件を定めていますか。
(質問12で「決めている」と答えた方)

表18-1	n= 87
	件数
定めていない	41 (47.1%)
定めている	45 (51.7%)
無回答	1 (1.1%)
合計	87 (100.0%)

定めている場合は該当するもの1つに○を記入

表18-2	n= 45
主治医について	件数
主治医変更が必須	16 (35.6%)
原則的に主治医変更、ただし例外あり	8 (17.8%)
利用者の意思に任せる	14 (31.1%)
その他	7 (15.6%)
合計	45 (100.0%)

(その他)

- 他院通院中の分は当院へ転院が必須 院内ではどのDrでも可
- グループ機関内に主治医があること
- 他院からの紹介はリワーク期間中の変更
- 変更なし
- 原則的に主治医は紹介医のまま
- 他院通院の場合、当院を1度受診してもらう
- 主治医は変更しなくて良いが、当院の診察もプログラム中は並行して受ける。

質問19 プログラム受け入れにおいて年齢の条件を定めていますか。
 (質問12で「決めている」と答えた方)

表19-1	n= 87	
	件数	
定めていない	79	(90.8%)
定めている	8	(9.2%)
合計	87	(100.0%)

定めている場合はその年齢を記入して下さい。

表19-2	n= 8	
	件数	
18才以上	1	(12.5%)
18才以上	60才以下	2 (25.0%)
18才以上	65才以下	1 (12.5%)
20才以上	55才以下	1 (12.5%)
20才以上	59才以下	1 (12.5%)
20才以上	60才以下	1 (12.5%)
20才以上	60才以下	1 (12.5%)
合計	8	(100.0%)

質問20 プログラム受け入れにおいて学生の条件を定めていますか。
 (質問12で「決めている」と答えた方)

表20-1	n= 87	
	件数	
定めていない	28	(32.2%)
定めている	58	(66.7%)
無回答	1	(1.1%)
合計	87	(100.0%)

定めている場合は該当するものに○を記入

表20-2	n= 58	
	件数	
学生を受け入れている	8	(13.8%)
学生を受け入れていない	50	(86.2%)
その他	0	(0.0%)
合計	58	(100.0%)

質問21 プログラム受け入れにおいて学歴の条件を定めていますか。
 (質問12で「決めている」と答えた方)

表21-1	n= 87	
	件数	
定めていない	87	(100.0%)
定めている	0	(0.0%)
合計	87	(100.0%)

定めている場合は該当するものに○を記入

表21-2	n= 0	
	件数	
大卒以上		
専門学校卒以上		
高卒以上	該当なし	
中卒以上		
その他		
無回答		
合計		

質問22 プログラム受け入れにおいて受け入れ会議を条件に定めていますか。
(質問12で「決めている」と答えた方)

表22	n= 87	
	件数	
定めていない	28	(32.2%)
受け入れ会議が必要	33	(37.9%)
特別な場合に受け入れ会議を開催する	26	(29.9%)
合計	87	(100.0%)

D. リワーク・プログラムの運用について

質問23 利用開始前の見学に関し、該当するものに○を記入して下さい。

表23	n= 104	
	件数	
本人のみ可	20	19.2%
家族も可	56	53.8%
見学は不可	28	26.9%
合計	104	(100.0%)

質問24 利用前の試験利用(継続して参加するかを判断するために単発的に利用すること)に関し、該当するものに○を記入して下さい。

表24	n= 102	
	件数	
試験利用は可	44	43.1%
試験利用は不可	58	56.9%
合計	102	(100.0%)

質問25 現時点におけるリワークプログラム開始までの待機期間(参加基準を満たしているが定員がいっぱいなため待機している期間)の有無に関し、該当するものに○を記入して下さい。

表25-1	n= 104	
	件数	
ある	16	15.4%
ない	88	84.6%
合計	104	(100.0%)

待機期間がある場合の日数

表25-2	n= 16	
	件数	
10日	2	(12.5%)
14日	1	(6.3%)
30日	5	(31.3%)
60日	2	(12.5%)
90日	1	(6.3%)
15~21日	1	(6.3%)
3週~3カ月	1	(6.3%)
60~90日(時期による)	1	(6.3%)
1~2ヶ月	1	(6.3%)
一定してません	1	(6.3%)
合計	16	(100.0%)
mean	39.2	
SD	24.3	

質問26 プログラムの参加にあたり、利用規定はありますか。

表26	n= 104	
	件数	
ある	98	94.2%
ない	6	5.8%
合計	104	(100.0%)

質問27 プログラムの参加にあたり、誓約書や同意書を取り交わしますか。

表27	n= 104	
	件数	
取り交わす	97	93.3%
取り交わさない	7	6.7%
合計	104	(100.0%)

質問28 参加者やプログラムの利用の仕方(参加する曜日や日数、時間、期間、プログラムなど)に関し、該当するものに○を記入して下さい。

	n= 105	
	件数	
本人の希望に任せる	16	15.2%
施設がルールを制定している	58	55.2%
その他	32	30.5%

(その他)

- 基本的には本人の希望だが、スタッフの判断もあり得る
- 開始時2日から徐々に増やして5日だが、リワーク通所期間によって段階的に変更可能
- 「本人の希望に任せる」と「施設がルールを制定している」をすり合わせる
- 「本人の希望に任せる」と「施設がルールを制定している」両方
- 医師、スタッフと相談して決める
- 担当スタッフと話し合い→OT利用について
- 「本人の希望に任せる」と「施設がルールを制定している」について相談の上
- 基本的には「施設がルールを制定している」、ケースバイケースで「本人の希望に任せる」
- 主治医・本人で相談
- 利用者と医師やスタッフが相談と決定
- ルールを制定する場合と本人に任せる場合とがあ
- スタッフ・医師と本人が相談の上で
- 本人とスタッフで相談
- 本人とスタッフと話し合い決定している。
- 本人・スタッフ話し合いの上、決定
- 本人と相談して決めている
- プログラム実施日が週1日午前中のみである
- 本人と話し合って決める
- スタッフと相談しながら決定
- 本人の希望と主治医の考えを含め検討
- 本人の希望とスタッフの判断での話し合い
- 双方の合意による
- 担当医、本人との間で話し合われて決定する。
- 本人、Dr. RW担当者との合意にて
- 本人と主治医の判断
- リワークスタッフと本人とで話し合い決定
- 担当スタッフが定期的に本人と話し合い決定
- 「本人の希望に任せる」を参考に、施設側が提案し、話し合って決める
- 本人の要望+本人とスタッフとの話し合い
- 必修のプログラムと自主課題を組み合わせている。時間、期間等は施設で定めている
- 本人と施設で決める
- 「本人の希望に任せる」と「施設がルールを制定している」の組み合わせ